

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価及び評価方法
取得原価基準による最終仕入原価法とする。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
定額法による。
- (3) 引当金の計上基準
債務性ある負債性引当金
退職給付引当金は、来年度末より要支給額を計上する事とする。
- (4) 消費税の会計基準
消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
退職給付引当預金	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
合 計	3,000,000	0	0	3,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	うち指定正味財産からの充当額	うち一般正味財産からの充当額	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	(0)	(3,000,000)	0
小 計	3,000,000	(0)	(3,000,000)	0
特定資産				
退職給付引当預金	0	(0)	(0)	0
小 計	0	(0)	(0)	0
合 計	3,000,000	(0)	(3,000,000)	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車 輛 運 搬 具	458,900	△ 458,899	1
器 具 備 品	504,000	△ 134,400	369,600
小 計	962,900	△ 593,299	369,601

会 計 監 査 報 告

1. 日 時 平成26年4月28日
2. 場 所 株式会社西福岡青色申告会館 二階 大会議室
3. 監査結果 関係諸帳簿、証憑書類、預金通帳、現金等監査の結果、適正であり、
予算の用途並びに業務執行においても、適切妥当であることを認める。

監 事 古 川 文 一
監 事 渡 邊 青

